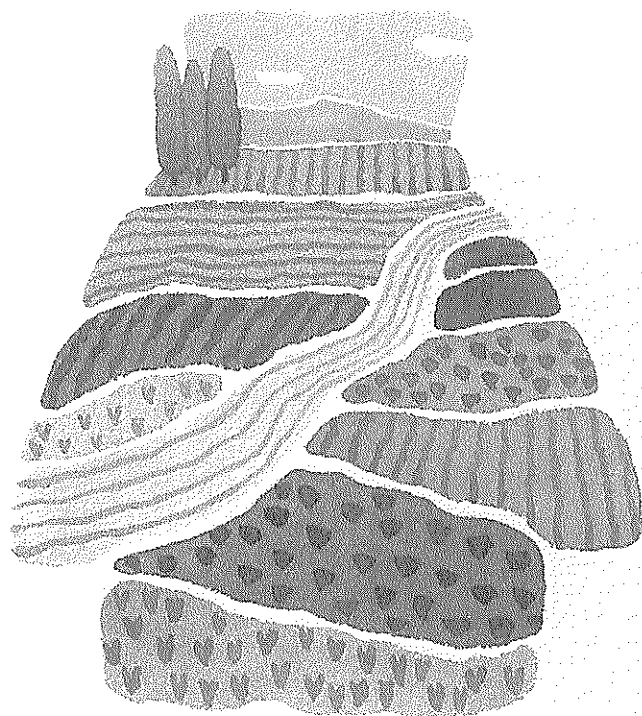


ことしの村のしごと

～令和3年度予算概要～



the most beautiful
villages in japan

「日本でも美しい村」認定

赤井川村

目次

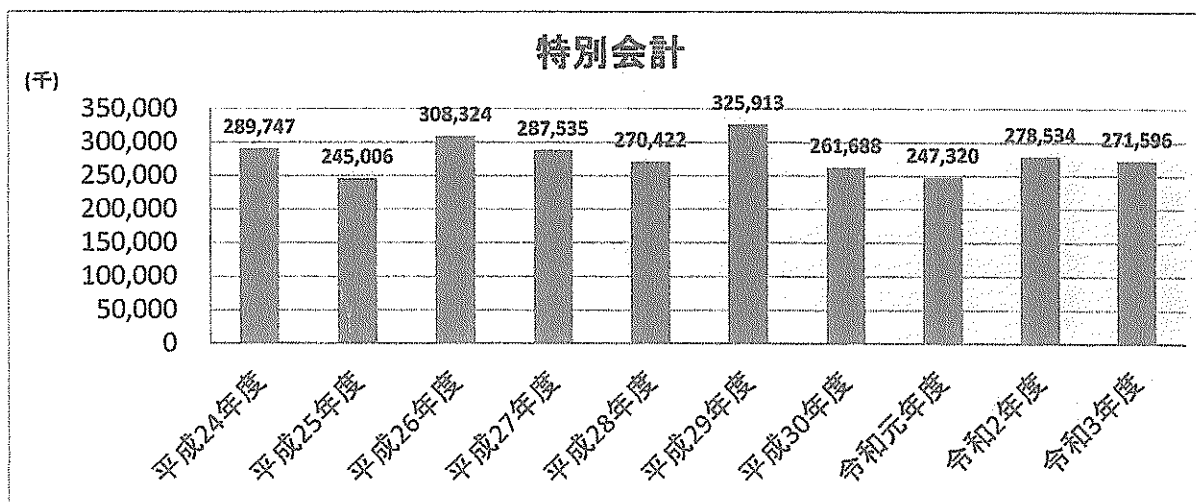
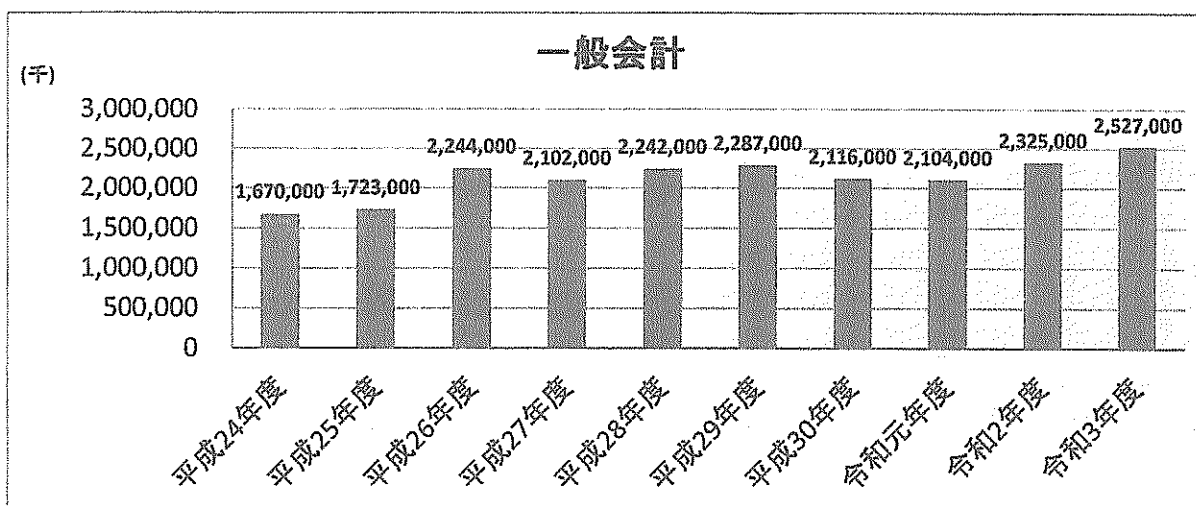
1 令和3年度の赤井川村の予算総額	1 ページ
2 一般会計の内訳（歳入）	2 ページ
3 一般会計の内訳（歳出）	3 ページ
4 一般会計節別予算	4 ページ
5 科目別の主な事業の内容	5 ページ
(1) 議会費	5 ページ
(2) 総務費	5 ページ
(3) 民生費	7 ページ
(4) 衛生費	9 ページ
(5) 農林水産業費	11 ページ
(6) 商工費	13 ページ
(7) 土木費	13 ページ
(8) 消防費	14 ページ
(9) 教育費	14 ページ
(10) 公債費	16 ページ
(11) 予備費	16 ページ
6 特別会計の状況	16 ページ
7 その他	17 ページ
8 令和元年度決算で見る赤井川村の財政状況	18 ページ

令和3年度の赤井川村の予算総額は、 27億9,859万6千円です。

令和3年度赤井川村予算が3月8日(月)に招集された村議会第1回定例会において可決されました。一般会計の歳入歳出総額は25億2,700万円で、体育館と公営住宅の改修並びに新型コロナウイルスワクチン接種事業費等により、前年当初予算に比べ2億200万円の増額となっております。今後も財政的には厳しい状態が続くと予想されることから、内部執行経費の縮減に努め村政運営をしてまいります。新年度各会計予算額は以下のとおりです。

○各会計の予算額

会 計	本年度予算額	前年度予算額
一般会計	25億2,700万0千円	23億2,500万0千円
後期高齢者医療特別会計	1,652万2千円	2,060万6千円
国民健康保険特別会計	4,279万9千円	6,179万9千円
介護保険サービス事業特別会計	4,878万3千円	4,806万4千円
簡易水道事業特別会計	9,048万8千円	6,321万7千円
下水道事業特別会計	7,300万4千円	8,484万8千円
合計	27億9,859万6千円	26億 353万4千円



一般会計の内訳(歳入)

歳入合計 25億2,700万円

地方交付税	寄附金	繰入金	国庫支出金	その他
37.2%	11.5%	10.2%	10.2%	31.1%

(単位:千円、%)

款	本年度予算	割合	前年度予算額	比較	
				増減	比率
1 村税	141,786	5.6	285,620	△ 143,834	49.6
2 地方譲与税	40,674	1.6	54,672	△ 13,998	74.4
3 利子割交付金	71	0.0	150	△ 79	47.3
4 配当割交付金	270	0.0	200	70	135.0
5 株式等譲渡所得割交付金	180	0.0	180	0	100.0
6 法人事業税交付金	2,702	0.1	0	2,702	皆増
7 地方消費税交付金	26,000	1.0	23,000	3,000	113.0
8 自動車税環境性能割交付金	1,170	0.0	6,000	△ 4,830	19.5
9 地方特例交付金	199,065	7.9	7	199,058	2843785.7
10 地方交付税	940,000	37.2	940,000	0	100.0
11 交通安全対策特別交付金	1	0.0	1	0	100.0
12 分担金及び負担金	1,508	0.1	1,542	△ 34	97.8
13 使用料及び手数料	31,969	1.3	32,091	△ 122	99.6
14 国庫支出金	252,969	10.0	148,891	104,078	169.9
15 道支出金	64,249	2.5	61,555	2,694	104.4
16 財産収入	9,381	0.4	8,119	1,262	115.5
17 寄附金	290,302	11.5	130,052	160,250	223.2
18 繰入金	257,329	10.2	353,625	△ 96,296	72.8
19 繰越金	5,000	0.2	30,000	△ 25,000	16.7
20 諸収入	61,074	2.4	53,645	7,429	113.8
21 村債	201,300	8.0	195,650	5,650	102.9
合計	2,527,000	100.0	2,325,000	202,000	108.7

主な増減要因

- 村 税 : 新型コロナウイルスの影響による固定資産税の軽減措置に伴う減額です。
- 地方特例交付金 : 新型コロナウイルスの影響による村税の減収額の補てんに伴う増額です。
- 国庫支出金 : 再生可能エネルギー事業に伴う国庫補助金の増額です。

一般会計の内訳(歳出)

歳出合計 25億2,700万円

総務費	土木費	民生費	公債費	衛生費	その他
21.5%	17.2%	13.6%	9.8%	9.5%	28.4%

(単位:千円、%)

款	本年度予算額	割合	前年度予算額	比較	
				増減	比率
1 議会費	49,269	1.9	48,612	657	101.4
2 総務費	542,398	21.5	386,172	156,226	140.5
3 民生費	343,652	13.6	360,517	△ 16,865	95.3
4 衛生費	240,923	9.5	235,581	5,342	102.3
5 農林水産業費	129,274	5.1	131,171	△ 1,897	98.6
6 商工費	117,737	4.7	114,287	3,450	103.0
7 土木費	433,442	17.2	402,168	31,274	107.8
8 消防費	172,089	6.8	213,659	△ 41,570	80.5
9 教育費	217,051	8.6	188,816	28,235	115.0
10 公債費	248,355	9.8	235,951	12,404	105.3
11 予備費	32,810	1.3	8,066	24,744	406.8
合計	2,527,000	100.0	2,325,000	202,000	108.7

村民1人当たり(令和3年2月末現在)

納める村税額 12万2千円

使われるお金 217万8千円

村税の内訳

村民税 5,208万9千円

固定資産税 7,616万1千円

軽自動車税 432万0千円

村たばこ税 420万6千円

入湯税 501万0千円

合計 1億4,178万6千円

主な増減要因

○総務費:ふるさと納税に関する返礼品代等の経費に伴う増額です。

○土木費:橋梁維持に関する設計や点検等の経費に伴う増額です。

○消防費:避難施設の自営発電設備の設置完了に伴う減額です。

用語の解説

◎地方交付税—村の財政状況に応じて国から交付されるお金です。

◎村債—国や銀行から借り入れるお金です。

◎公債費—村債(借入金)を返したり、借入れに伴う利子を払うお金です。

※ 住民の数は2月末現在の人口1,160人で計算(千円未満は四捨五入)しています。

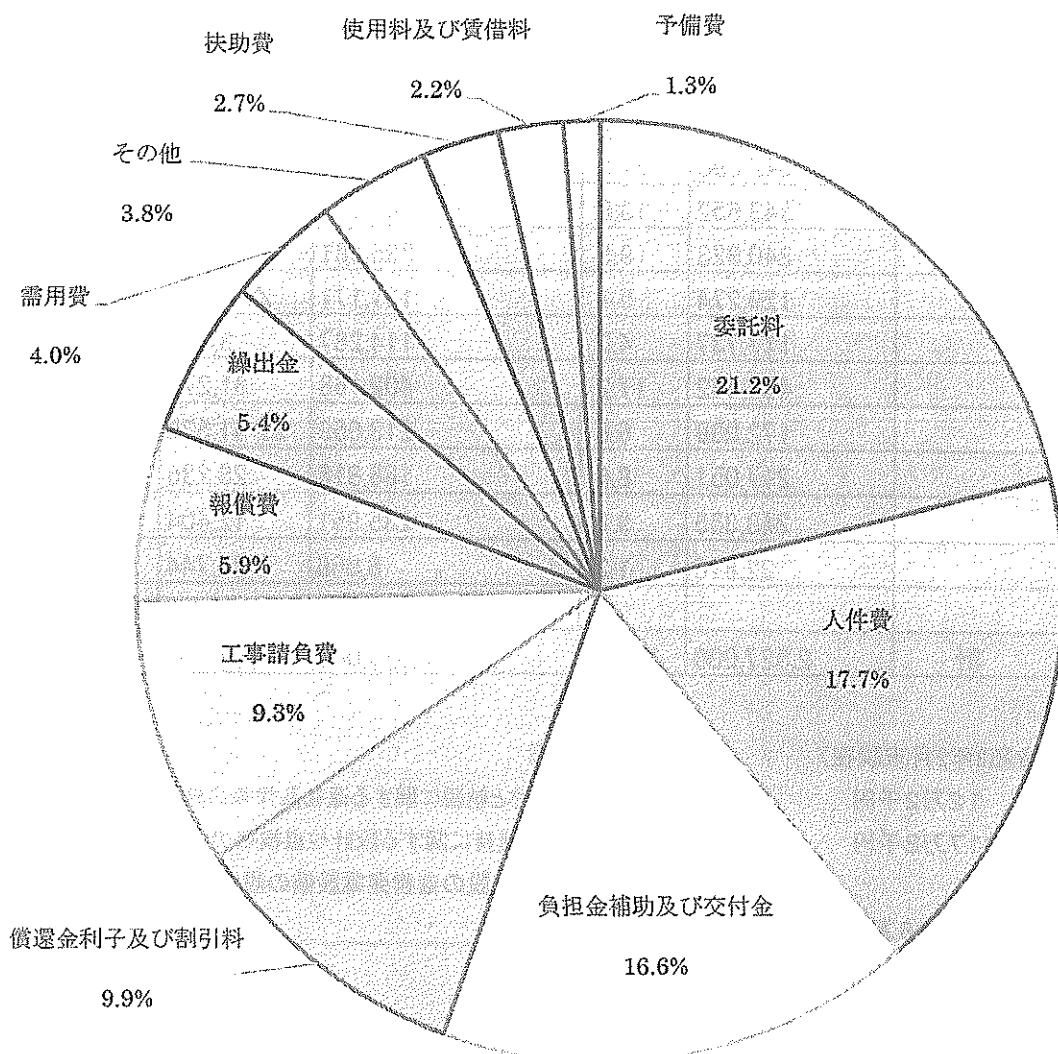
一般会計節別予算

ここでは、一般会計の内どんな費用がどのくらい占めているのかをあらわしています。

令和3年度予算の特徴として大きく増額となったものは、再生可能エネルギー事業や橋梁補修設計などによる「委託料」、一方で大きく減額となったものは、健康支援センターにおける緊急発電用設備工事やWI-FI設置工事の完了などによる「工事請負費」となっています。

また、「その他」の欄には「旅費」「交際費」「役務費」「原材料費」「公有財産購入費」「備品購入費」「補償補填及び賠償金」「積立金」「公課費」が含まれています。

令和3年度節別予算



※人件費内訳：職員給与・会計年度任用職員報酬・議員報酬等

次のページからは、令和3年度に赤井川村が実施する主な事業の内容をお知らせいたします。地方自治体の財政運営は毎年厳しい状況が続いていますが、今後も、「住みよく、うるおいのあるむらづくり」に取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

議会費

予算額 4,926万9千円
(村民1人当たり4万2千円)
議員報酬や研修旅費など議会活動に使われる費用です。

- 議員報酬 1,995万6千円(前年度と同額)
 - ・村議会議員8名の報酬です。
- 議員期末手当 851万1千円(前年度比-9万6千円)
 - ・村議会議員8名の期末手当(4.45月分)です。
- 議員研修旅費 77万1千円(前年度比+27万2千円)
 - ・村議会議員の研修視察に係る費用です。
- 会議録作成業務委託料 129万4千円(前年度と同額)
 - ・村議会の議事録を作成するための費用です。
- 議員共済会負担金 612万9千円(前年度比-32万8千円)
 - ・市町村議会議員共済年金を廃止することにより必要な一時金等を支払うための費用です。

総務費

予算額 5億4,239万8千円
(村民1人当たり46万8千円)
庁舎・集会施設管理や公共交通、交通安全対策、ふるさと納税、税務・戸籍に関わる事務などに使われる費用です。

- 区会長謝金 52万5千円(前年度と同額)
 - ・区会長15名の報償費です。
- 市町村生活バス補助金 1,216万円(前年度比+125万7千円)
 - ・村唯一の公共交通機関である路線バスの確保に必要な費用です。
- 市町村生活バス(赤井川線)定期券購入費助成金 84万円(前年度と同額)
 - ・村唯一の公共交通機関である路線バスの定期券を購入される方に助成します。
- 赤井川村公共交通バス運行業務委託料 333万3千円(前年度比+14万5千円)
 - ・令和元年12月から開始した日曜日並びに祝日のバス運行に係る必要な費用です。
- 赤井川村地域公共交通活性化協議会補助金 573万8千円(前年度比+573万8千円)
 - ・地域公共交通計画策定のため、当該協議会に対し補助する必要な費用です。令和2年度より各種調査を行い、本年度は計画策定及び実証運行を予定しています。

- ふるさと納税経費 1億8,678万2千円（前年度比 +9,920万円）
 - ・平成28年度から開始したふるさと納税に係る必要な費用です。
 - ※主な費用—ふるさと納税返礼品代(送料含む)1億4,500万円、手数料（募集代行、システム管理費用）4,098万2千円など

- 地域おこし協力隊員活動経費 310万2千円（前年度比 +132万3千円）
 - ・ふるさと納税の受付、PR、地域の情報・魅力を発信する地域おこし協力隊員の活動等に必要な費用です。

- 区会交付金 108万円（前年度と同額）
 - ・区会の活動等に対する交付金です。15区会に交付しています。

- 文書費 467万4千円（前年度比 -56万9千円）
 - ・村条例、規則等例規集の追録や条例・規則等の作成支援、国や道の法律・条例等業務に必要な法令集の追録にかかる費用です。
 - ※主な費用—法制執務支援委託業務99万円、一般法令集追録代114万4千円など

- 広報費 181万5千円（前年度比 -21万9千円）
 - ・村広報誌の「広報あかがわ」を月1回（年12回）発行し、むらづくり情報などを提供します。
 - ※主な費用—印刷製本費 167万7千円など

- 財産管理費 424万4千円（前年度比 -26万8千円）
 - ・村有地の維持管理、村有林の育成並びにさくら・もみじ基金事業などに使われる費用です。
 - ※主な費用—村有林育成費41万8千円、公会計作成支援業務委託料55万円、さくら・もみじ基金事業費265万6千円など

- 財政調整基金費 702万5千円（前年度比 +32万円）
 - ・各種基金等への積み立てを行っています。
 - ※主な費用—備荒資金組合超過納付金637万5千円、公共施設整備基金利子積立金64万8千円など

- 交通安全対策費 232万8千円（前年度比 +5万9千円）
 - ・交通安全推進員、交通安全指導員の設置、交通安全協会の運営助成など交通安全対策に使われる費用です。
 - ※主な費用—交通安全灯電気料91万2千円、街路灯設置事業補助金11万3千円、交通安全協会補助金8万円など

- 企画費 8,327万4千円（前年度比 +4,865万4千円）
 - ☆再生可能エネルギー事業費（7,071万円／主な費用—委託料7,051万円など）
カルデラ温泉等における再生エネルギー導入の検討や小水力発電事業化等に向けた調査を行います。
 - ☆情報通信費（1,026万1千円／主な費用—委託料329万7千円など）
国、都道府県、市町村をネットワークで結び、行政事務の効率化を図る総合行政ネットワークに必要な機器類の保守管理等を行います。
 - ☆「日本で最も美しい村」連合費（99万9千円／主な費用—負担金45万4千円など）
赤井川村が加盟している「日本で最も美しい村」連合の活動に使われる費用です。

○庁舎管理費 1,260万9千円（前年度比 +2千円）

・役場庁舎の維持管理を行う費用です。

※主な費用－光熱水費471万円、委託料552万9千円、修繕費30万円など

○集会施設管理費 952万1千円（前年度比 -115万8千円）

・落合住民センター、都住民センター、山村活性化支援センター、コミュニティセンター、旧都保育所などの維持管理に必要な費用です。

※主な費用－施設管理委託料240万円、その他委託料236万6千円、光熱水費285万5千円など

○徴税費 1,064万2千円（前年度比 -1,365万5千円）※人件費を総務管理費に移しています。

・税務係が賦課徴収を行う税金（村民税、固定資産税、軽自動車税など）事務を円滑に行うための費用です。

※主な費用－委託料468万4千円、システム使用料458万1千円など

○戸籍住民基本台帳費 1,739万9千円（前年度比 -2,095万2千円）※人件費を総務管理費に移しています。

・住民基本台帳ネットワークシステムの維持管理に係る費用や戸籍に関わる事務を円滑に行うための費用です。

※主な費用－システム保守委託料等287万円、戸籍システムソフト使用料等1,024万1千円など

○選挙費 96万9千円（前年比 -1万2千円）

・村で行われる各種選挙が公正かつ円滑に行われるよう活動している選挙管理委員会の運営にかかる費用です。

※主な費用－委員報酬65万円、選挙管理システム使用料26万4千円など

○統計調査費 28万7千円（前年度比 -70万9千円）

・村内で行われる各種統計調査を円滑に行うための費用です。本年度実施が予定されている統計調査は、学校基本調査、工業統計調査、農作物作付面積調査、経済センサス活動調査等です。

※主な費用－統計調査員等報酬18万2千円、消耗品費6万7千円など

○監査委員費 94万9千円（前年度比 -1万6千円）

・村の会計が適正に行われているかどうかをチェックし、行政の公正の確保を目的に行われている各種監査にかかる費用です。

※主な費用－監査委員報酬70万円など

民生費

みんせいひ

予算額 3億4,365万2千円

（村民1人当たり29万6千円）

子どもや高齢者の方などの福祉に使われる費用です。

○社会福祉・民生委員費 99万円（前年度比 +6万3千円）

・村民の社会福祉の増進を図るため、国・道・村から委嘱を受けている社会福祉・民生委員の活動に対する費用です。（民生委員6名、主任児童委員2名）

※主な費用－委員報酬4万7千円、民生委員児童委員協議会交付金84万1千円など

- 社会福祉協議会運営事業補助金 1,848万6千円（前年度比 -18万円）
 - ・社会福祉の充実向上のため活動している社会福祉法人赤井川村社会福祉協議会の運営に対し助成します。
 - ※主な費用—補助金 1,848万6千円

- 障害者福祉費 3,253万8千円（前年度比 -317万9千円）
 - ・身体障がい者の日常生活用具や補装具の給付、福祉施設入所の措置費などを助成します。
 - ※主な費用—介護給付費・訓練等給付費 2,802万円、補装具給付費 40万円、自立支援医療費 79万2千円など

- 老人福祉費 1,549万3千円（前年度比 -302万3千円）
 - ・村の老人福祉の充実、向上を目指し、以下の事業を行っています。
 - ☆緊急通報システム事業（36万6千円／主な費用—システム委託料 30万円、電話架設料 6万6千円）
 - 概ね 65 歳以上の単身のお年寄りの方などに、緊急通報用の電話機、ペンダント型発信機を設置し、24 時間体制でけがや病気などの緊急時に対応できるようにします。
 - ☆高齢者地域ケア推進事業（5万4千円／主な費用—電話サービス委託料 5万4千円）
 - 社会福祉協議会に事業の運営を委託し、概ね 65 歳以上のお年寄りの方に、電話による安否確認や相談などを行います。
 - ☆高齢者除雪支援事業（200万円／主な費用—在宅高齢者除雪支援助成金 200万円）
 - H28 年度より村の事業として、2つの高齢者除雪支援事業を行ってまいりましたが、H30 年度より一本化し、新たな除雪支援事業として行っています。
 - ☆敬老年金（749万円／主な費用—敬老年金 749万円）
 - 高齢者の長寿をお祝いするため、毎年 70 歳以上の方々に敬老年金を贈呈します。（敬老年金の額—70 歳以上 2 万円、75 歳以上 2 万 5 千円、80 歳以上 3 万円）
 - ・養護老人ホームに入所する高齢者に対する措置費です。
 - ☆老人福祉施設入所者措置費（176万円／主な費用—入所者措置費 176万円）
 - ☆福祉パスポート利用者入館料補償金（210万円／主な費用—福祉パスポート利用者入館料補償金 210万円）
 - 65 歳以上のお年寄り方に、赤井川温泉の入館料を補償します。

- 敬老会費 60万3千円（前年度比 -15万2千円）
 - ・毎年、長寿をお祝いする敬老会開催にかかる費用です。
 - ※主な費用—食糧費 42万2千円、印刷製本費 4万2千円など

- 重度心身障害者並びにひとり親家庭等医療費 188万4千円（前年度比 -37万5千円）
 - ・重度心身障害者及びひとり親家庭等の親と児童の保健の向上に資するとともに、福祉の増進を図ることを目的に、医療費の助成を行っています。（重度—入通院、ひとり親の子—入通院、ひとり親—入院のみ）
 - ※主な費用—医療費 176万円、請求事務手数料等 5万3千円など

- 後期高齢者医療費 2,782万2千円（前年度比 -15万円）
 - ・後期高齢者医療の保険者は道内全ての市町村で構成する北海道後期高齢者医療広域連合です。この広域連合の運営経費及び村の医療費負担分が計上されています。
 - ※主な費用—後期高齢者医療広域連合療養給付費負担金 1,904万9千円、特別会計繰出金 877万3千円

○介護保険事業費 3,833万3千円（前年度比 -1,005万2千円）※人件費を社会福祉総務費に移しています。
・平成21年4月1日より後志広域連合で介護保険事業が開始されたことに伴い、村の介護保険特別会計（保険事業勘定）が廃止されました。そのため、これまで特別会計で計上されていた予算の一部と後志広域連合への負担金が計上されています。
また、令和2年度より居宅介護支援事業の運営を赤井川村社会福祉協議会が担っていることから、その経費に対する補助金を計上しています。
※主な費用—後志広域連合負担金3,023万8千円、居宅介護支援事業補助金699万7千円など

○地域支援事業費 4,356万8千円（前年度比 -515万4千円）
・上記と同様に、介護保険特別会計（保険事業勘定）廃止に伴い、一般会計に計上されることとなった予算です。こちらは、介護保険事業の介護予防事業等に係る予算となっています。（日常生活支援総合事業、包括支援事業等）
※主な費用—生きがいデイサービス給食業務委託料14万円、地域包括支援センター運営業務委託料等4,219万9千円、小樽・北しりべし成年後見センター負担金27万4千円など

○乳幼児医療費 337万6千円（前年度比 -28万6千円）
・北海道の事業として行っている乳幼児医療費助成制度で、就学前までの医療費を助成の他村独自の制度として、H27年7月より小学生～中学生の医療費の助成を行っています。
※主な費用—就学前医療費103万3千円、小・中学生医療費（村拡大助成分）219万6千円など

○保育所運営費 1,401万9千円（前年度比 -2,346万6千円）※人件費を児童福祉総務費に移しています。
・赤井川へき地保育所の運営及び村外保育所等の利用に係る費用です。令和元年10月より国の施策として3才以上の幼児に係る利用料は無償化されました。赤井川へき地保育所を利用する2才児については、引き続き、村の独自施策として無償化しています。
※主な費用—広域入所委託料430万円、施設型給付費600万円など

○児童措置費 1,363万円（前年度比 +58万7千円）
・中学校3年生までの児童・生徒に対し支給される児童手当に関する費用です。
※主な費用—児童手当1,363万円など

衛生費

予算額 2億4,092万3千円

（村民1人当たり20万8千円）

病気の予防対策や各種健診、ごみ収集など保健と衛生に使われる費用です。

○母子保健相談指導事業費 61万4千円（前年度比 +9万4千円）
・乳児、1歳6ヶ月、3歳児のお子さんの成長を確認し、また育児の様々な不安や疑問に対する相談や指導を行っています。
※主な費用—栄養相談手数料6万円、医師診察手数料6万6千円、北後志母子通園センター事業運営負担金23万6千円など

○ふれあい健康まつり実行委員会補助金 15万円（前年度と同額）

- ・ふれあい健康まつり実行委員会への補助金です。

※主な費用—補助金 15万円

○保健推進員協議会補助金 50万円（前年度と同額）

- ・住民の健康の保持、増進及び疾病の早期発見、早期治療を目的とした保健推進活動をしていただいている保健推進員協議会の活動に対し助成します。また、地区の健康づくり、体力づくり事業にも助成しています。

※主な費用—補助金 50万円

○予防費 1,444万8千円（前年度比 +430万1千円）

- ・疾病の早期発見・予防や生活習慣病の予防にかかる費用です。また、児童及び高齢者の予防接種にかかる費用も含まれます。

※主な費用—基本健診・各種がん検診委託料 498万7千円、予防接種委託料 298万5千円、新型コロナウイルスワクチン接種委託料 373万9千円など

○墓地・火葬場費 998万2千円（前年度比 +255万3千円）

- ・火葬場の管理委託料や赤井川・都・常盤墓地の維持にかかる費用です。

※主な費用—管理委託料 467万5千円、光熱水費 61万3千円、火葬場施設修繕費及び改修工事 351万4千円など

○廃棄物処理費 6,789万4千円（前年度比 +15万円）

- ・一般廃棄物最終処分場の管理やごみの収集業務及び、し尿処理にかかる費用です。可燃（燃やせる）ごみは北しりべし廃棄物処理広域連合の焼却施設で処理しています。

※主な費用—北後志衛生施設組合負担金 933万6千円、北しりべし廃棄物処理広域連合負担金 593万3千円、一般廃棄物最終処分場管理委託料 1,977万8千円、一般廃棄物・資源リサイクル収集委託料等 2,571万8千円など

○狂犬病予防費 8万7千円（前年比 -1万3千円）

- ・畜犬の登録や狂犬病予防にかかる費用です。

※主な費用—予防注射事務委託料 3万9千円、消耗品費 2万6千円など

○診療所費 2,982万3千円（前年度比 -1,142万6千円）※人件費を保健衛生総務費に移しています。

- ・赤井川診療所の運営にかかる維持管理費です。

※主な費用—管理委託料 2,280万円、光熱水費 93万3千円、医療機器リース料 185万8千円、整形診療医師謝金 60万円など

○健康支援センター費 702万6千円（前年度比 -127万4千円）

- ・健康支援センターの維持管理にかかる費用です。

※主な費用—光熱水費 172万2千円、設備点検委託料等 144万1千円など

のうりんすいさんぎょうひ 農 林 水 産 業 費

予算額 1億2,927万4千円

(村民1人当たり11万1千円)

農林業の振興や農業委員会の活動にかかる費用です。

- 農業委員会費 541万3千円(前年度比-307万8千円) ※人件費を農業総務費に移しています。
 - ・主に農地の所有権移転や賃貸借・使用貸借権等の設定の許可を行う農業委員会が優良農地の保全や活用が効率的に図られるよう協議・調整するとともに、新規就農者や後継者支援等担い手対策活動を進める経費と農業者年金事務にかかる費用です。
 - ※主な費用-農業委員報酬250万円、旅費124万2千円、農業者年金受託事業費17万2千円など

- 経営所得安定対策事業費 24万円(前年度比-6千円)
 - ・品目横断的経営安定対策、米政策改革の推進を図るための活動経費です。
 - ※主な費用-農事組合長謝金16万5千円、消耗品費7万円など

- 農業振興対策費(村単独事業) 1,764万2千円(前年度比+328万3千円)
 - ・農業農村活動の活性化をめざし、以下の事業に支援を行っています。
 - ☆交配用蜜蜂導入事業補助金(105万5千円)
 - メロン、南瓜等の花粉交配作業の省力化を図るため、蜂箱借り上げ料に対し支援します。
 - ☆土づくり対策事業補助金(800万円)
 - 各生産者が堆肥を確保し、継続的に土づくりが行えるよう支援します。
 - ☆農業用廃プラスチック回収事業補助金(37万7千円)
 - 農業用ビニールなどの生産者自主回収体制を確立させることにより、農村環境の保全とリサイクルによる資源の有効活用を図る活動を支援します。
 - ☆がんばる農業後継者育成支援事業補助金(5万円)
 - 農業後継者が農業経営に必要な各種研修活動や各種資格取得にかかる経費の一部を支援します。
 - ☆新規就農支援事業補助金(27万6千円)
 - 新規就農者の安定的な農業経営を支援するため条例に基づく農地の賃借料、借入金利息について助成します。
 - ☆農業団体・部会活動支援事業補助金(50万円)
 - 本村農作物の品質・技術向上や販路拡大を推進するため、農業団体・部会に対して活動費用の助成を行います。
 - ☆融雪促進対策事業補助金(123万8千円)
 - 豪雪地帯である本村の立地条件を克服し、地温の確保及び春耕作業の条件整備を図るため、融雪剤の散布を推進します。
 - ☆営農実習支援助成金(360万円)
 - 新規就農研修受入農家に対し、営農実習支援として助成金を交付します。
 - ☆耕作放棄地解消事業補助金(198万4千円)
 - 近年増加している耕作放棄地の解消と再生、優良農地の保全を図る取り組みを進

めます。

○畜産業費 29万1千円（前年度比 -1万3千円）

・畜産農家の肥育環境の改善と防疫活動の円滑化を図るための費用です。

※主な費用—みなみ北海道農業共済組合後志家畜診療センター運営事業補助金 14万4千円、家畜防疫対策事業補助金 6万円、乳質改善事業補助金 6万5千円など

○農地費 531万7千円（前年度比 -141万9千円）

・主に農作物の生産基盤を改善するためにかかる事業経費です。

☆小規模土地改良事業費（80万8千円／主な費用—単独基盤整備推進事業補助金 20万円、赤井川地区土地改良計画樹立費負担金 10万円など）

☆畑地かんがい実態調査事業費（34万5千円／主な費用—需用費 18万9千円など）

☆多面的機能支払交付金事業費（416万4千円／主な費用—資源保全隊に対する交付金 409万9千円など）

○農業振興センター管理費 1,034万5千円（前年度比 -389万1千円）

・野菜や花き苗の育成や農作業の受託及び新規就農希望者研修等により農業経営を支援しています。

※主な費用—運営事業補助金 900万円、管理委託料 78万5千円など

○地籍調査成果管理費 142万2千円（前年度比 +8万円）

・地籍調査後の地番、面積、境界等を適正に管理するため、数値の電算管理を行っています。

※主な費用—地籍成果管理事業委託料 92万6千円、消耗品費 8万5千円など

○水利施設管理費 1,812万3千円（前年度比 -484万4千円）※人件費を農業総務費に移しています。

・落合ダム、畑かん用水路を管理するための費用です。

※主な費用—各種設備保守点検委託料等 545万8千円、警報車（公用車）購入費 471万9千円など

○林業振興費 1,320万9千円（前年度比 -325万7千円）

・森林整備計画に基づき、計画的に実施される民有林の造林に対し支援するとともに、今後の計画的森林整備のための調査等へ支援を行います。今年度も民有林の造林（16ha／前年度比△1ha）が予定されています。

※主な費用—森林管理計画意向調査委託料 90万2千円、森林整備対策事業補助金 659万5千円（新規／森林育樹支援・森林環境充実支援事業 80万円）など

○有害鳥獣駆除費 456万7千円（前年度比 +78万4千円）

・鳥獣による農作物等被害対策や駆除を行う費用です。

※主な費用—ヒグマ防除隊員報酬 50万円、狩猟免状等取得者人材育成補助金 20万8千円、村鳥獣害防止対策協議会負担金 152万1千円、被害防止機材等購入補助金 180万円など

しょうこうひ 商工費

予算額 1億1,773万7千円
(村民1人当たり10万1千円)
商工業の振興や観光事業のために使われる費用です。

- 商工総務費 1,996万6千円(前年度比+286万4千円)
 - ・村商工会の運営・村産物の販売促進に対する支援や消費者対策にかかる費用です。
 - ※主な費用－商工会運営費補助金710万円、特産品開発支援事業補助金60万円など
- 観光費 4,144万3千円(前年度比-315万1千円)
 - ・村観光協会の活動支援やカルデラの味覚まつり、村の観光振興を推進する費用です。
 - ※主な費用－カルデラの味覚まつり事業補助金370万円、メープル街道393もみじ祭補助金160万円、村観光振興事業補助金210万円、ウィンターフェスティバル&シーニックナイト補助金30万円、道の駅あかいがわ指定管理料2,860万円、地域おこし協力隊員活動費83万9千円など
- 小公園管理費 4,165万6千円(前年度比+351万2千円)
 - ・カルデラ公園、みやこ公園、都運動公園、栗林公園などの維持管理にかかる費用です。
 - ※主な費用－管理委託料3,299万5千円など
- 保養センター費 1,467万2千円(前年度比+22万5千円)
 - ・赤井川温泉(保養センター)の維持管理にかかる費用です。
 - ※主な費用－指定管理料1,322万円、修繕費110万円など

どぼくひ 土木費

予算額 4億3,344万2千円
(村民1人当たり37万4千円)
道路や河川などの維持整備、公営住宅の建設及び各住宅の維持補修に使われる費用です。

- 道路維持費 1億2,834万円(前年度比-666万7千円)
 - ☆道路維持修繕費(3,661万円/主な費用－村道維持整備工事637万7千円、村道草刈・維持管理作業委託料2,454万1千円、花いっぱい運動参加用花購入費94万円など)
赤井川市街地や高原道路など約134.0kmの村道の草刈業務や舗装、サイドラインの補修、側溝清掃などを行います。
 - ☆除圧雪費(9,158万円/主な費用－村道等除雪業務9,029万8千円、冬期用資材66万3千円など)
村道(59路線、延長約56.1km)や公共施設など(28箇所)の除雪を行います。
- 橋梁維持費 1億1,078万2千円(前年度比+2,934万9千円)
 - ・村が管理する橋梁の維持及び補修にかかる費用です。
 - ※主な費用－橋梁補修設計業務2,810万5千円、橋梁補修工事6,791万2千円、橋梁点検業務負担金1,476万円など
- 河川費 1,359万7千円(前年度比+552万9千円)

- ・村が管理する河川の維持にかかる費用です。
※主な費用－河川整備工事 1,239万7千円など

- 住宅管理費 1億1,936万円（前年度比 +206万4千円）
 - ・村が管理する村営住宅や村有住宅の建設及び維持管理、移住・定住支援事業、入居者選考委員会にかかる費用です。
※主な費用－村営中央団地個別改善改修工事 750万円、村営悠友団地個別改善改修工事 5,000万円、村営都団地解体工事 223万3千円、村営桜団地敷地整備工事 880万円、村有住宅（赤井川地区）解体工事 229万円など

- 道路新設改良費 5,197万円（前年度比 +256万4千円）
 - ☆富田線道路改良工事（継続）
延長 164m 幅員 4.0m
※主な費用－工事請負費 3,678万1千円など

しょうぼうひ 消 防 費

予算額 1億7,208万9千円
（村民1人当たり14万8千円）
災害防止や救急業務のために使われる費用です。

- 北後志消防組合負担金 1億6,502万円（前年度比+194万1千円）
 - ・火災の防止や救急時の搬送等の活動をしている北後志消防組合の運営にかかる費用です。
※主な費用－負担金1億6,502万円（本部経費713万2千円、赤井川支署分1億3,865万9千円など）
- 災害対策費 706万9千円（前年度比 -4,351万1千円）
 - ・一般災害の防止や、原子力防災対策など災害時の情報提供を目的に設置されている防災行政無線の維持管理や備蓄用品購入のための費用です。本年度は地域防災計画を改定します。
※主な費用－防災行政無線保守点検業務委託料（精密点検）143万円、地域防災計画（原子力編、水防編含む）修正業務委託料 280万円、TV中継所電源予備機更新費 28万6千円など

きょういくひ 教 育 費

予算額 2億1,705万1千円
（村民1人当たり18万7千円）
学校教育のほか社会教育などに使われる費用です。

- 教育委員会費 120万3千円（前年度比 -5万2千円）
 - ・教育委員の報酬や旅費などの費用です。
※主な費用－教育委員報酬 90万円、旅費等 12万5千円など
- 小学校管理費 2,409万2千円（前年度比-771万4千円）

- ・赤小と都小の維持管理にかかる費用です。
※主な費用—委託料 730 万 2 千円、光熱水費 490 万円など
- 小学校教育振興費 693 万 5 千円（前年度比-613 万 1 千円）
 - ・赤小と都小で使用する教材や備品等を購入する費用です。
※主な費用—教授用等消耗品 188 万円、備品購入費 241 万円など
- 中学校管理費 1,294 万 3 千円（前年度比-339 万 6 千円）
 - ・赤中の維持管理にかかる費用です。
※主な費用—委託料 452 万 7 千円、光熱水費 220 万 1 千円など
- 中学校教育振興費 2,249 万 9 千円（前年度比+231 万 6 千円）
 - ・赤中で使用する教材や備品、またスクールバスの運行にかかる費用です。
※主な費用—スクールバス運行委託料 704 万円、備品購入費 127 万 4 千円、外国語指導業務(A L T)委託料 576 万 2 千円など
- 村社会教育団体運営事業補助金 62 万円（前年度と同額）
 - ・連合 P T A、カルデラ太鼓保存会の活動に対し助成しています。
※主な費用—補助金 62 万円（カルデラ太鼓保存会 50 万円、連合 P T A 12 万円）
- 国際交流推進委員会運営事業補助金 21 万 2 千円（前年度と同額）
 - ・平成 7 年度より実施されている国際交流事業にかかる費用を助成しています。
※主な費用—補助金 21 万 2 千円
- 放課後子ども教室費 148 万 4 千円（前年度比 -3 万 1 千円）
 - ・放課後子ども教室の人件費を除く運営にかかる費用です。
※主な費用—送迎委託料 95 万 2 千円など
- 社会教育施設費 810 万 9 千円（前年度比 -94 万 2 千円）
 - ・生活改善センターと郷土資料館の維持管理にかかる費用です。
※主な費用—管理委託料 518 万 1 千円、除雪業務委託料 90 万 7 千円など
- ジュニアクロスカントリースキー大会事業補助金 80 万円（前年度と同額）
 - ・毎年実施されているジュニアクロスカントリースキー大会の運営にかかる費用を助成しています。
※主な費用—補助金 80 万円
- 村体育団体活動補助金 30 万円（前年度と同額）
 - ・村内で活動している各種体育団体に対し助成しています。（6 団体に各 5 万円）
※主な費用—補助金 30 万円（パークゴルフ協会 5 万円、スポーツ少年団 5 万円など）
- 体育施設費 4,790 万 8 千円（前年度比 +2,906 万 8 千円）
 - ・村内の体育施設（プール、体育館、山村広場）の維持管理にかかる費用です。本年度は体育館の改修を行います。
※主な費用—管理委託料 830 万 5 千円、光熱水費 493 万 1 千円、体育館改修工事 2,861 万 1 千円など
- 学校給食費 2,059 万円（前年度比+68 万 6 千円）
 - ・村内小中学校の学校給食委託にかかる費用や村の独自施策として、H27 年 7 月より小・中学校の給食費を村が負担しています。
※主な費用—学校給食業務負担金 1,490 万 8 千円、児童生徒給食費負担金(村負担分) 458

万4千円など

公債費

こうさいひ

予算額 2億4,835万5千円
(村民1人当たり21万4千円)
村が借りたお金の返済や利子の支払い
に使われる費用です。

○公債費 2億4,835万5千円(前年度比 +1,240万4千円)

・村が借りたお金の返済や利子の支払いを行います。昨年度よりも償還金は増加しています。

※主な費用一元金償還2億3,898万4千円、利子償還937万1千円

予備費

よびひ

予算額 3,281万円
(村民1人当たり2万8千円)

○予備費 3,281万円(前年度比 +2,474万4千円)

・予算成立後において歳出に計上された予算に不足が生じたり、災害などの予見し難い費用の不足に充てるための費用です。

特別会計の状況

とくべつかいけいのじょうきょう

後期高齢者医療特別会計	1,652万2千円
前年比 -408万4千円(村民1人当たり1万4千円)	
国民健康保険特別会計	4,279万9千円
前年比 -1,900万円(村民1人当たり3万7千円)	
介護保険サービス事業特別会計	4,878万3千円
前年比 +71万9千円(村民1人当たり4万2千円)	
簡易水道事業特別会計	9,048万8千円
前年比 +2,727万1千円(村民1人当たり7万8千円)	
下水道事業特別会計	7,300万4千円
前年比 -1,184万4千円(村民1人当たり6万3千円)	

その他

○繰り越して行う事業等

- ・令和2年度の補正により予算計上を行いました、特別な事情により年度内に事業等の完了が見込めない下記の事業について予算を令和3年度に繰り越して実施することになっています。

☆高度無線環境整備推進事業

☆赤井川村テレビジョン放送局 受信空中線輻射器修繕工事

☆社会保障・税番号制度(住民情報・戸籍附票・戸籍情報)システム
改修業務

☆赤井川村移住・定住支援事業補助金

☆赤井川小学校備品(学校保健特別対策事業)購入事業(その3)

☆都小学校後付け式自動水栓購入事業

☆赤井川中学校備品(学校保健特別対策事業)購入事業(その3)

○ふるさと納税は、皆さんの暮らしに活用しています

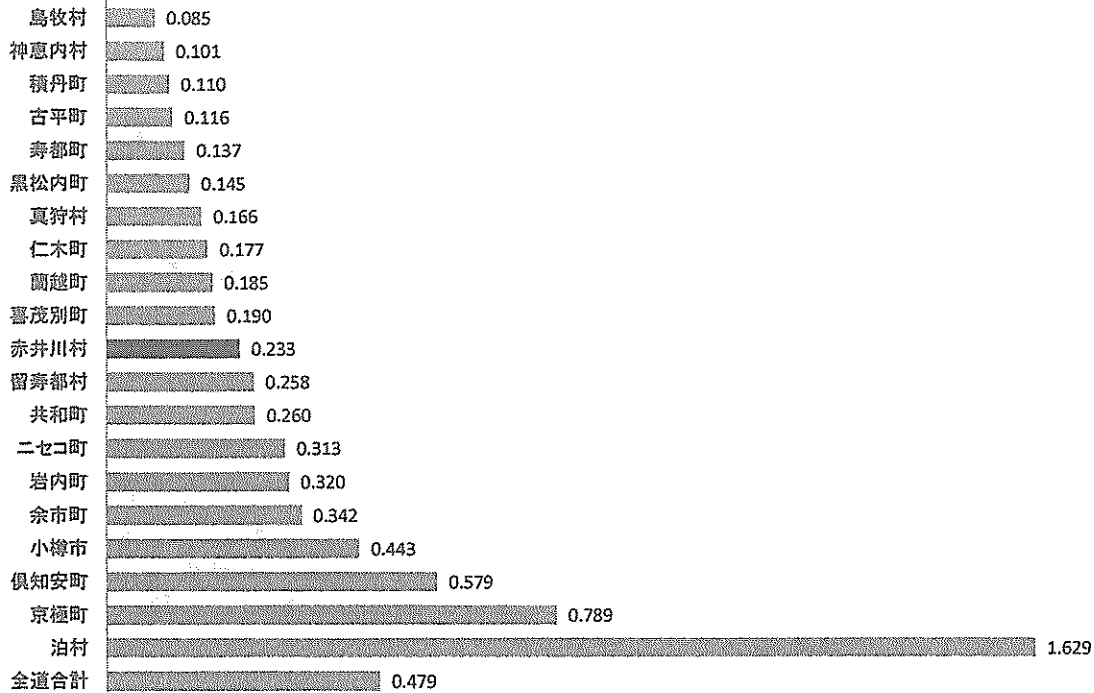
- ・全国各地より、赤井川村への応援として「ふるさと納税」による寄付が寄せられています。令和元年度は2.2億円、令和2年度も3.5億円と年々増加傾向にあり、このふるさと納税は、子育て支援、高齢者の健康づくり支援、美しい村づくり、新規就農支援など皆さんの暮らしに様々なかたちで活用している貴重な財源となっています。

令和元年度決算で見る赤井川村の財政状況

北海道市町村の普通会計決算の概要が公表されました。ここでは、後志管内の市町村と比較して、赤井川村がどのような財政状況にあるのかをお知らせします。引用：「北海道HP」・「後志振興局HP」

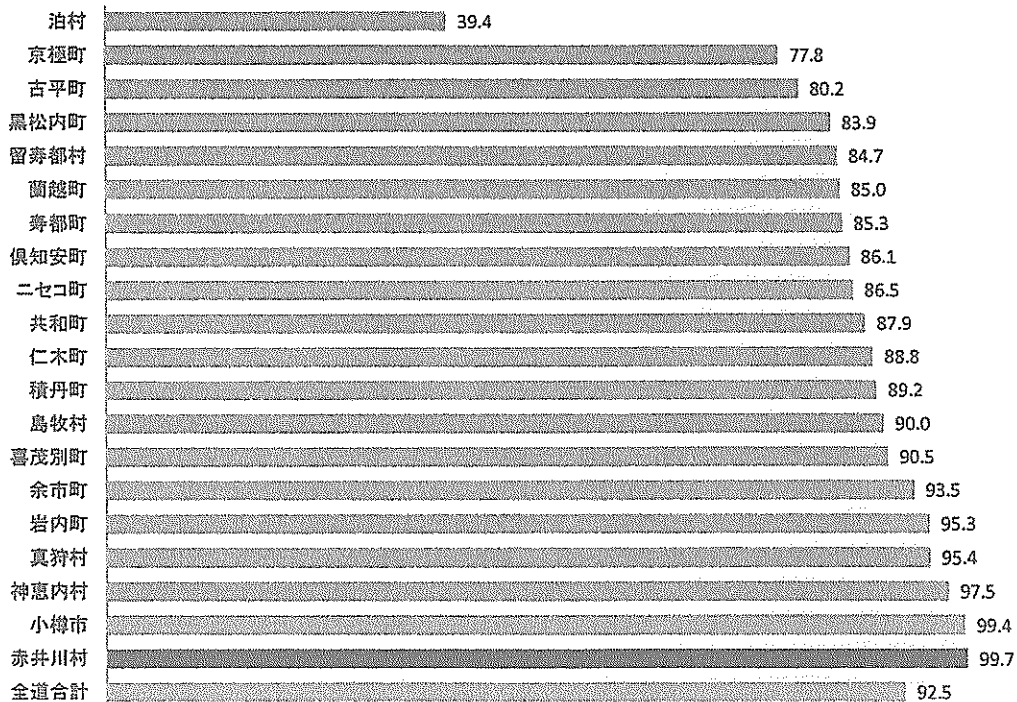
財政力指数

人口や面積などで標準的にかかるお金に対し、自主的な収入（税金など）がどのくらいあるのかを示す目安です。「1.000」だと100%自分たちのお金で市町村財政を運営できることになります。（赤井川村は0.233で管内で10番目に高い）



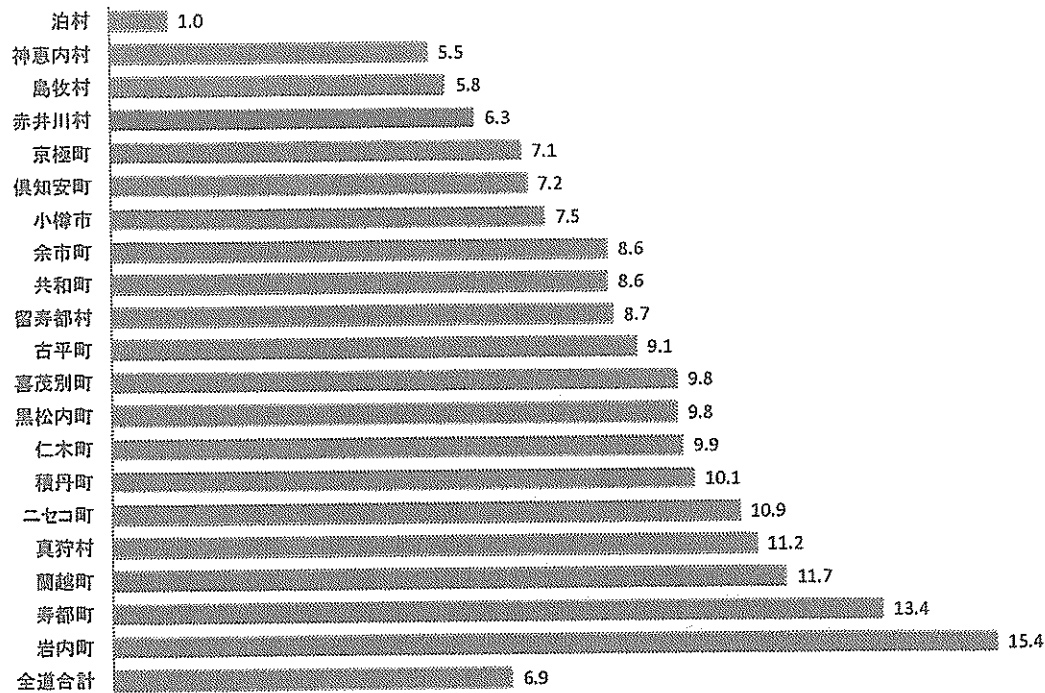
経常収支比率

村税など毎年決まって入ってくる経常的な収入が、人件費など毎年決まって出ていく経常的な経費に、どの程度あてられているかを示す比率で、低いほど自由に使えるお金があることとなります。（赤井川村は99.7で管内で1番目に高い）



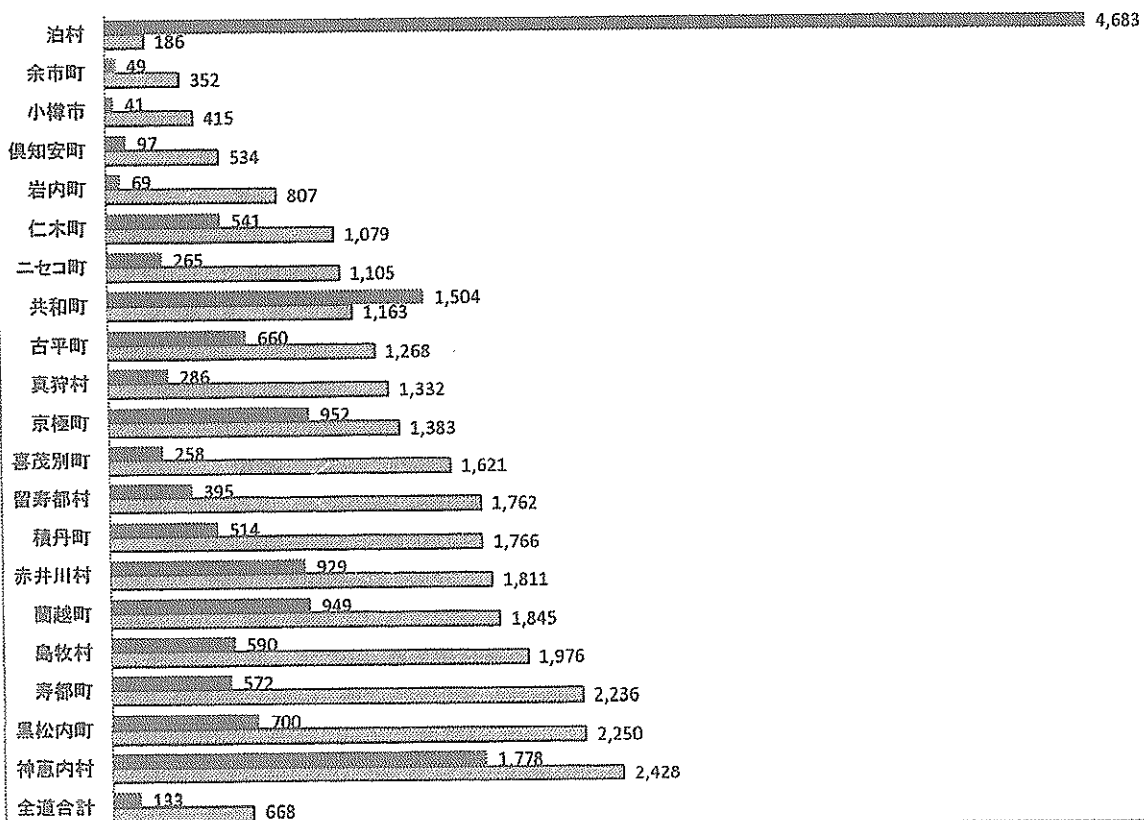
実質公債費比率

地方債を借り入れする場合の指標で、一般会計のほか簡易水道や下水道など公営企業の支払う元利償還金への一般会計からの繰出金などを算入することで連結決算の考え方を導入し、この比率が高くなると一定の制限を受けることになります。(赤井川村は6.3で管内で4番目に低い)



地方債と積立金残高

人口1人当たりの借金(地方債)と貯金(積立金)の金額です。(赤井川村は地方債が1,811千円で管内で6番目に高く、積立金は、929千円と管内で6番目に高い)



※上段が貯金(積立金)、下段が借金(地方債)です(単位は千円)

